

(事例50) 44歳男性、システム開発業務、高血圧悪化のため残業・出張禁止

類型	症候	疾患
1, 2, 4	1. 高血圧症, 2. 不眠、めまい	4. 高血圧症

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 44歳 男性</p> <p>2) 業種、作業内容 システム開発業務 内勤</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 高血圧</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 残業禁止、出張禁止</p>		
<p>4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など)</p> <p>繁忙が持続していた中、血圧が急激に悪化し、SBP180~190mmHg を認めた。 内科へ紹介し、内服加療をスタートしても改善を認めず。 その上、不眠、めまいなどの症状も出現したため、内科に加え心療内科も紹介受診した。 不眠は改善し、SBP150~160mmHg 程度に改善傾向を認めた。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可)</p> <p>① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p> <p>② 企業リスクが予見されたため(交通事故、公衆災害の発生など)</p> <p>④ 職場や企業への注意を促すため(例: 過重労働職場に対し、残業を一定時間以下に制限するなど)</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい</p> <p>就業制限を実施した方が良いとは判断したが、職場全体に疲弊感があり、その他の同僚への影響も懸念した。</p>		